

## I 設 置 目 的

登山研修所は、わが国における登山の健全な発達を図るため、登山指導者養成のための研修訓練を行い、あわせて登山に関する調査研究を行うことを目的とする。

## II 名 称 及 び 位 置

### (1) 本 館

名 称 文部省登山研修所  
位 置 富山県中新川郡立山町大字芦嶋寺ブナ坂(千寿ヶ原)  
電話 上滝局(0764)-82-1211~2

### (2) 前進基地

名 称 文部省登山研修所夏山前進基地  
位 置 富山県中新川郡立山町大字芦嶋寺ブナ坂外11  
国有林123イ林小班(剣沢)  
名 称 文部省登山研修所冬山前進基地  
位 置 富山県中新川郡上市町大字千石字南無阿弥陀外4  
国有林136号林小班(千石)

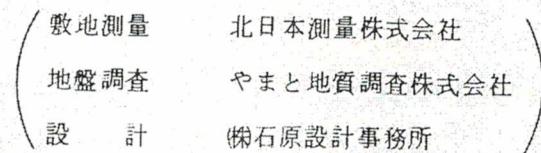
### III 沿革

昭和38年、39年の冬山登山において遭難事故が続発したことから、文部省は、山岳遭難事故を未然に防止するためには、登山指導者の養成を行い、正しい安全な登山を普及することが急務であるという見地から、研修施設を設置することとした。

昭和39年春、関係者による施設を設置するための調査検討が進められ、富山県中新川郡立山町大字芦嶋寺ブナ坂（通称千寿ヶ原）に設置することが最も適しているという結論を得た。

昭和40年度予算で敷地購入費及び調査設計費約1600万円が計上された。

用地は、農林省林野庁名古屋営林局から有償所管換えを受けた。



昭和41年度には、施設建設のための予算として約5,500万円が計上され、文部省管理局教育施設部及び富山大学施設課の監督のもとに、佐藤工業株式会社が施工した。

昭和41年7月1日に起工式を行い、翌42年1月31日に竣工した。

昭和42年6月1日に、文部省設置法施行規則の一部改正があり、登山研修所の名称、位置等が定められ、ここに正式に発足した。

概要是、次のとおりである。

#### 沿革の概要

昭和39年	富山県中新川郡立山町芦嶋寺ブナ坂（千寿ヶ原）に登山研修所を設置することを決定
41年 7月	登山研修所起工式
42年 7月	登山研修所開所式
43年10月	夏山前進基地（刎沢）竣工
44年12月	冬山前進基地（千石）竣工
46年 3月	ロッククライミング訓練施設竣工
49年12月	トレーニング室竣工
54年 3月	超短波業務無線局（もんぶたてやま）開局
54年 3月	山岳模型（劍岳周辺地形模型；縮尺1：3000）設置
54年 9月	夏山前進基地増築
55年10月	山岳トレーニングコース竣工
62年 1月	研修所庁舎大浴場改修
63年12月	ロッククライミング訓練施設改修及び測定室・照明塔新設
平成 2年12月	車庫改築
4年 3月	冬山前進基地改修
5年12月	山岳スキー訓練場拡幅
7年 9月	夏山前進基地増築
8年 3月	スポーツクライミング用人工壁設置（トレーニング室内）
8年 9月	夏山前進基地改修（室内模様替）

## IV 研修事業

### 1 研修会及び講習会

#### (1) 研修会及び講習会要項

##### ① 高等学校・高等専門学校登山指導者研修会研修会要項(昭和49年度まで)

###### 第1 目的

高等学校・高等専門学校における登山部の指導者に対し、登山に関する基礎的知識と実技についての研修を行い、指導者としての資質の向上をはかる。

###### 第2 研修期間

研修会を夏山・冬山・春山の3期に分け、これをすべて修了して基礎研修を終わる。

各研修会の期間は7日間とし、合計21日を標準とする。

###### 第3 研修内容

研修内容は講義・実技・研究討議の三つに大別する。

###### 1 講義内容

- (1) 登山の変遷、リーダーと隊員の資格について、高等学校・高等専門学校登山の諸問題など
- (2) 山の気象とその判断、地形、地図、地質、岩石、雪氷とくに雪崩など
- (3) 救急法、体力、疲労、トレーニング、健康管理など
- (4) 登山計画、装備、食糧など
- (5) 各地方山岳の特性、山の動植物、星のみかた、自然保護など

###### 2 実技内容

###### (1) 歩行技術

###### A 夏山研修会

- ア 歩きかた、休憩のとり方、オーダーとリーダーの位置、疲労者の処置、歩行中の地図の読み方と利用
- イ 荷物のパッキング、装備、食糧の点検
- ウ 岩場、ガレ場、やぶ、沢などにおける歩行とその判断
- エ 雪渓上の歩行(登降と横断)とその判断
- オ ピッケル、ザイルの使用法

###### B 冬山研修会

- ア 雪質、気象の変化、雪崩の危険に対する判断、寒気に対する処置

イ 保雪歩行とくにわかんじきの使用法

ウ ピッケル、アイゼンの使用法

エ スキー利用の登降

### C 春山研修会

ア 雪質の判断、雪質がちがう場合の雪上登降ルートの判断

イ アイゼン、ピッケル、ストックの使用法(歩行、カッティング)

ウ スキー利用の登降

### (2) 登はん技術

#### A 夏山研修会

ア 岩の見方、登降ルートの判断

イ 岩場の登降

ウ ザイルの使用法

#### B 冬山研修会

ア 保雪中におけるラッセル、危険に対する判断

イ 保雪、極寒時におけるアイゼン、ピッケル、ストックの使用による登はん

ウ わかんじき、アイゼンの併用による登はん

エ ザイルの使用法

#### C 春山研修会

ア 雪質差によるピッケル、アイゼンなどの使用法

イ ザイルの使用法

ウ 雪、岩のまじったところの登降

### (3) 生活技術

#### A 夏山研修会

ア 生活態度・・・生活時間と規律、健康管理、マナー、清潔、整頓など

イ 夏山幕営の基本的な問題・・・風雨、出水、漏水など

ウ 設営技術・・・位置の設定、設営法、焚火法

エ 山小屋利用に対する注意

オ 炊事

カ 気象観測、天気図の作成、観天望気などによる行動の判断

#### B 冬山研修会

ア 生活態度・・・生活時間と規律、健康管理、マナー、清潔、整頓など

- イ 冬山幕営の基本的な問題・・・積雪、雪崩、風、寒気など
  - ウ 設営技術・・・位置の設定、設営法、換気、焚火法
  - エ 山小屋利用に対する注意
  - オ 炊事、テント内の処理
  - カ 雪洞、イグルーの建設
  - キ ビバーク、小屋がけ
- C 春山研修会
- ア 生活態度・・・生活時間と規律、健康管理、マナー、清潔、整頓など
  - イ 春山幕営の基本的な問題・・・雪質、雪崩、気温の升降、衣服、雪盲など
  - ウ 設営技術・・・位置の設定、設営法、焚火法
  - エ その他冬山に準ずる
- (4) 危急時対策（夏・冬・春山研修会を通じて）
- ア 荒天、風雪、吹雪、雷などにおける判断
  - イ 事故発生時における判断、処置、連絡など
  - ウ トランシーバーの使用法
  - エ 救急法
  - オ 負傷者の運搬など

### 3 研究討議

研究討議は講義、実技において研修した事項をとりあげ討論するとともに次のような議題もとりあげる。

- (1) 高等学校・高等専門学校教育と登山
- (2) 登山部活動の課題
- (3) 登山の地域差の問題
- (4) 遭難事故と責任の問題
- (5) その他

### 第4 研修会実施上の留意点

- 1 研修内容は高等学校・高等専門学校登山部の指導者として修得しておかなければならぬものであり、とくに次の事項に重点をおいて実施する。
  - (1) 登山指導者としての心がまえ
  - (2) 登山の基礎的知識と技術の取得および登山に関する知識技術の指導法
  - (3) 高等学校・高等専門学校の登山部活動における指導上の諸問題を中心とした研究

## 討議

2 議義内容は登山に必要な基礎的知識に重点をおく。

技術、装備などに関する講義および研究討議は現地で実習をかねて実施するなどで効果をあげるようにする。

3 実技の内容は基礎的技術の研修を中心とし、その安全な指導法についても実施することとし、応用的な登はんなどは原則として行わない。

4 危急時対策は夏山、冬山、春山の各研修会を通じて実施する。

5 研修会終了時には修了証を授与する。

## ② 大学山岳部リーダー研修会研修要項(昭和49年度まで)

### 第1 目 的

大学山岳部員に対して、登山に関する基礎的知識と実技についての研修を行い、リーダーとしての資質の向上を図る。

### 第2 研修期間

研修会は、夏山・冬山・春山研修会の3期に分け、これをすべて終了して、基礎研修を終わる。

各研修期間を7日間とし、合計21日間を標準とする。

### 第3 研修内容

研修内容は、講義・実技・研究討議の三つに大別する。

#### 1 講義内容

- (1) 登山の変遷、リーダーと隊員の資格について、大学山岳部の諸問題
- (2) 山の気象とその判断、地形・地図・地質・岩石・雪氷特に雪崩など
- (3) 救急法、体力・疲労・トレーニング・健康管理など
- (4) 登山計画・装備・食糧など
- (5) 各地方山岳の特性、山の動植物、星の見方と天測、自然保護など

#### 2 実技内容

##### (1) 歩行技術

###### A 夏山研修会

ア 歩き方、休憩のとり方、オーダーとリーダーの位置、疲労者の処置、歩行中の地図の読み方と利用

イ 荷物のパッキング、装備、食糧の点検

## ⑥ 集団登山指導者研修会研修要項(昭和49年度まで)

### 第1 目的

集団登山(夏山および無雪地域の登山に限る)の指導者に対して 集団登山に必要な知識と登山技術に関する研修を行い、指導者としての資質の向上をはかる。

### 第2 研修期間

研修会の研修期間は5日間を原則とする。

### 第3 研修内容

研修内容は、講義、実技、研究討議の三つに大別する。

#### 1 講義内容

- (1) 集団登山の意義、指導者としての心構え、集団行動時における心理、集団登山の諸問題など
- (2) 事前調査、事前事後指導、計画の立て方、パーティー編成の方法とその運営、装備、食糧輸送、安全対策、危急時対策など
- (3) 夏山気象とその判断、地形・地図・地質・岩石・動物植物、自然保護
- (4) 健康管理、山の医学、救急法

#### 2 実技内容

##### (1) 歩行技術

歩き方、ペースのとり方、休憩のしかた、登山行動中の連絡法、登山隊編成と引率法、疲労者の早期発見と処置、岩場・ガレ場・やぶ・沢などの歩行と通過、雪渓の判断とその登降および横断、装備、食糧の点検、背負い方

##### (2) 生活技術

ア 生活時間と規律、健康管理、マナー、清潔整頓  
イ 天幕設営地の選定、設営法、山小屋の使用上の心得、炊事に関する技術  
ウ 気象観測と行動の判断

##### (3) 危急時対策

ア 台風、雨、風、雷などにおける判断と処置  
イ 事故発生時における判断、処置、連絡  
ウ 安全に誘導するためのザイルの使用法、救助法  
エ トランシーバーの使用法  
オ 救急法

### 3 研究討議

研究討議は、講義、実技での問題点をとりあげて討議するとともに、次の事項もとりあげる。

- (1) 集団登山のありかた
- (2) 集団登山の計画と実施
- (3) 野外活動の集団登山
- (4) 集団登山の事故防止と責任
- (5) その他

#### 第4 研修会実施上の留意点

- 1 研修では次の事項に重点をおく
  - (1) 集団登山指導者としての心構え
  - (2) 集団登山の意義
  - (3) 計画のたてかたと準備
  - (4) 安全対策
  - (5) 実施と指導上の問題を中心とした研究討議
- 2 講義は集団登山に必要な知識のうち、とくに計画のたてかたと安全対策に重点をおく。
- 3 実技は指導者の登山技術の向上をはかるとともに集団登山における安全確保に対する判断などの修得に重点をおく。
- 4 研修会修了時には修了証を授与する。

# 文部省登山指導者研修会

## 研修要項（昭和50年度から）

（高等学校・高等専門学校登山指導者、大学山岳部  
リーダー、一般山岳団体指導者 研修会）

目的	期間	研修項目	内容
登山に関する基礎的知識と実技並びにその指導法について研修を行い、指導者（リーダー）としての資質の向上を図る。	春山研修会 7日間  夏山研修会 7日間  冬山研修会 7日間  ただし昭和53年度から一般山岳団体指導者研修会は春山を、高等学校・高等専門学校登山指導者研修会は春山・冬山の各研修会を行なわない。	講義  登山の基本的諸問題  自然科学的な知識  登山計画  危急時の対策  実技  歩行技術 生活技術 岩登り技術 氷雪技術 山岳スキー技術 危急時対策  研究協議  高等学校・高等専門学校山岳部（登山部）の運営上の諸問題 大学山岳部の運営上の諸問題 一般山岳団体の運営上の諸問題 実技指導上の諸問題 その他	登山の心がまえ 登山史 リーダーシップ・メンバーシップ 団体の運営と管理 事故と責任 自然保護 山の気象 地図・地形・地質 積雪と雪崩 登山の医学 健康管理 トレーニング 山の動植物 山と天文 登山の準備 登山の食糧 登山の装備 山の危険 救急法 遭難救助組織

## 研修内容

(高等学校・高等専門学校登山指導者、大学山岳部  
リーダー、一般山岳団体指導者 研修会)

研修項目		内容
講義	登山の基本的諸問題	登山の心がまえ 登山史 リーダーシップ・メンバーシップ 団体の運営と管理 事故と責任 自然保護
	自然科学的な知識	山の気象 地図・地形・地質 積雪と雪崩 登山の医学 健康管理 トレーニング 山の動植物 山と天文
	登山計画	登山の準備 登山の食糧 登山の装備
	危急時の対策	山の危険 救急法 遭難救助組織

		無 雪 期		積 雪 期	
研修項目		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 行 技 術 技 術	歩 行	出発準備 人数、健康状態の確認 目的、行程、連絡方法 の徹底 天気予報 パッキング、装備、食 糧の点検 歩き方の基本 登下降法、ペースの取 り方、休憩の取り方、 水の飲み方、地図の読 み方、オーダーとリーダーの位置、疲労者の 処置 雪渓上の歩行 雪渓の登下降におけるルートの選定と危険の 判断 雪渓の登下降の技術 キックステップ、ステップカッティング 等 基本姿勢、一点支持 滑落停止 固定ザイルの使用法 ガレ、草付の登下降 沢歩き、渡渉、やぶこぎ	周囲の情況・天 候	出発準備 人数、健康状態の確認 目的、行程、連絡方法 の徹底 天気予報 パッキング、装備、食 糧の点検 歩き方の基本 ペースの取り方、休憩 の取り方、水の飲み方、 地図の読み方、オーダーとリーダーの位置、 疲労者の処置 軟雪における歩行 つぼ足 わかんじき ラッセル技術 堅雪上の歩行 キックステップ、ステ ップカッティング アイゼン技術 滑落停止	雪質・雪崩・雪 庇・落石・天候 等に対する判断 と処置 歩行速度と行程
	生活	生活の基本 時間と規律、健康管理 自然保護、天候判断 幕営 天幕の種類と特徴 用具の確認	崩落・ルートの 選定	生活の基本 時間と規律、健康管理 自然保護、天候判断 幕営 天幕の種類と特徴 用具の確認	積雪・雪崩・風 ・寒気

		無 雪 期		積 雪 期	
研修項目		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 活 技 術	生 活	場所の選定 設営技術(張り方, 撤収) 生活上の注意 簡易露營 場所の選定 地形・用具の活用 不時露營 決定の時機, 場所の選定, 定形・用具の活用, 食糧管理, 健康管理 脱出の時機	風雨・出水・漏水 整理整頓・火気使用 天候の変化に対する判断と処置 天候の変化に対する判断と処置	場所の選定 設営技術(張り方, 撤収, 防風壁) 生活上の注意 雪洞とイグルー <sup>1</sup> 型式と選択基準 用具の選定 場所の選定 構築技術 生活上の注意 山小屋の使用 生活上の注意 簡易露營 場所の選定 地形・用具の活用 不時露營 決定の時機 場所の選定 地形・用具の活用 食糧管理・健康管理 脱出の時機 炊事	
		用具の点検, 使用法 食糧, 献立の確認	火気使用 食中毒	用具の点検, 使用法 食糧, 献立の確認	火気使用 食中毒
	技 術				

		無 雪 期		積 雪 期	
研修項目		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 り り 技 術	岩 登 り 登 はん 技 術	ルートの選定 岩場の見方、名称 ルートの判断 危険の回避 用具と使用法 登山用ベルト ヘルメット ザイル カラビナ、ハンマー、 ハーケン等 確保技術 支点の取り方 自己確保 確保の種類 静的確保、動的確保 (制動確保) 確保の方法 直接確保、間接確保 登はん技術 岩登りの基本姿勢 三点支持 ホールドの使い方 リズムとバランス 登下降 トラバース オポジションクライミング 懸垂下降 隔時登はん 連続登はん 応用技術 埋込みボルト、クライミングナット、あぶみ	天候による岩場の変化 登はん用具の強度と安全性 衝撃の方向と強さの予測 衝撃の緩和		

		無 雪 期		積 雪 期	
研修項目		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
岩 登 り 技 術		等の使用法 上げ登はん、ザイル トラバース 固定ザイルの使用法 登下降器の使用法			
実 水 雪 技 術				ルートの選定 ルートの判断 危険の回避 用具と使用法 ザイル、ピッケル、アイゼン、わかんじき、アイスハーケン等 軟雪における登下降 堅雪上の登下降 キックステップ、ステップカッティング アイゼン技術 登はん技術 一点支持と基本姿勢 リズムとバランス 固定ザイルの使用法 耐風姿勢 確保技術 支点の取り方 自己確保 確保の種類 静的確保、動的確保 ( 制動確保 ) 確保の方法 直接確保、間接確保 隔時登はん 連続登はん 氷雪と岩のまじったところ	用具の機能と強度

		無 雪 期	積 雪 期	
研修項目	内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
氷 雪 技 術 実	氷 雪 技 術		ろの登はん 雪庇, きのこ雪, ナイフ エッジ 応用技術 氷雪壁の登はん アイスハンマー, アイスバイル, あぶみ, 登 下降器の使用法 ザイルトラバース, 吊 上げ登はん	一点支持と三点 支持
			用具と使用法 スキー, 締具, 靴, ストック, シール, ワックス, 修理用具 ルートの選定 ルート旗の立て方, デボ地の選定 積雪と雪崩の判断 スキー技術 歩行 ラッセル 直滑降 斜滑降 横滑り 山まわりターン 谷まわりターン 応用動作	用具の特性 深雪・悪雪 パーティの分散 と集合地点 ルートを全員に 徹底 自分の技術にあ わせたスキー操 作
危 急 時 対 策	危 急 時 対 策	危険の回避 天候の変化, 地形, パーティーの状態に対する 判断と対策 事故発生時における対策	危険の回避 天候変化, 地形, パーティーの状態に対する判 断と対策 雪崩発生の予知と対策 事故発生時における対策	風雪・深雪中の 行動と対策 リングワンデリ ング

		無 雪 期		積 雪 期	
研修項目		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 危 急 時 対 策 技		不時露營の方法 通信連絡の方法 捜索の活動 救出における実際活動 救急法 搬送法 平地, 岩場, 雪上	登山用具・装備 の利用	不時露營の方法 通信連絡の方法 捜索活動 救出における実際活動 救出法 搬送法 平地, 岩場, 雪上	登山用具・装備 の利用

研 究 協 議	高等学校・高等専門学校山岳部(登山部)の運営下の諸問題 大学山岳部の運営上の諸問題 一般山岳団体の運営上の諸問題 実技指導上の諸問題 その 他
------------------	---

## 研修・講習要項 (平成7年度から)

大学山岳部リーダー研修会、高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会

雪上技術講習会、岩登り講習会、山岳スキー講習会

目的	期間	研修・講習項目
登山に関する基礎的知識と実技並びにその指導法について研修・講習を行い、指導者（リーダー）としての資質の向上を図る。	大学山岳部リーダー春山研修会 7日間 大学山岳部リーダー夏山研修会 7日間 大学山岳部リーダー冬山研修会 7日間	講義 登山の基本的問題 自然科学的な知識 登山計画 危急事対策
	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会 5日間 雪上技術講習会 5日間 岩登り講習会 5日間	実技 歩行技術 生活技術 岩登り技術 氷雪技術 山岳スキー技術 危急事対策
	山岳スキー講習会 5日間	研究協議 山岳部(山岳会)運営上の諸問題 実技指導上の諸問題 その他

## 研修・講習内容

研修・講習項目		内 容
講 義	登山の基本的問題	登山の心構え 登山史 リーダーシップ・フォロワーシップ 山岳部（山岳会）の運営と管理 事故と責任 自然保護
	自然科学的な知識	山の気象 地図・地形・地質 積雪と雪崩 登山の医学 健康管理 トレーニング 山の動植物 山と天文 確保理論
	登山計画	登山の準備 登山の食糧 登山の装備
	危急時対策	山の危険 救急処置 事故対策

研修講習 項目	無雪期		積雪期	
	内 容	留意点	内 容	留意点
実行技術	出発準備 人数、健康状態の確認、目的、行程、連絡方法の徹底 天気の予測 パッキング、装備、食糧の点検 ルートの選定、危険の回避 歩き方の基本 登下降の技術、ペースの取り方、休憩の取り方、水の飲み方、地図の読み方、オーダーとリーダーの位置、疲労者の処置  雪渓上の歩行 雪渓の登下降におけるルートの選定と危険の判断 雪渓の登下降の技術 キックステップ、ステップカッティング等 基本姿勢、一点支持、滑落停止 固定ザイルの技術 ガレ、草付の登下降 沢歩き、渡渉、やぶこぎ	周囲の状況、天候 崩落・ルートの選定	出発準備 人数、健康状態の確認、目的、行程、連絡方法の徹底 天気の予測 パッキング、装備、食糧の点検 ルートの選定、危険の回避 歩き方の基本 登下降の技術、ペースの取り方、休憩の取り方、水の飲み方、地図の読み方、オーダーとリーダーの位置、疲労者の処置  軟雪における歩行 つぼ足、わかんじき ラッセル技術 堅雪上の歩行 キックステップ、ステップカッティング、ピッケルとシェタイクアイゼンの技術 滑落停止、耐風姿勢 雪崩対策 積雪と雪崩の判断 雪崩埋没者の救助	雪質・雪崩・雪庇 落石、天候等に対する判断と処置 歩行速度と行程 二次雪崩
	生活の基本 時間と規律、健康管理、自然保護、天候判断 幕営 天幕の種類と特徴 用具の確認		生活の基本 時間と規律、健康管理、自然保護、天候判断 幕営 天幕の種類と特徴 用具の確認	

研修講習 項 目		無 雪 期		積 雪 期	
		内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 生 活 技 術	生	場所の選定 設営技術（張り方，撤収）  生活上の注意  簡易露營 場所の選定 地形・用具の活用	風雨，出水，漏水 整理整頓 火気使用  天候の変化に対する判断と処置	場所の選定 設営技術（張り方，撤収，防風壁） 生活上の注意  雪洞とイグルー 型式と選択基準	整理整頓 火気使用 換気・除雪 地形・積雪量・収容人員等により決定
		不時露營 決定の時期，場所の選定，地形・用具の活用，食糧管理，健康管理，脱出の時期	天候の変化に対する判断と処置	用具の選定 場所の選定  構築技術  生活上の注意  山小屋の使用 生活上の注意  簡易露營	雪崩・吹溜り 作業中の防湿，疲労 防湿，換気，整理整頓，崩壊・埋没  整理整頓 後始末 天候の変化に対する判断と処置
				場所の選定 地形・用具の活用 不時露營 決定の時期 場所の選定 地形・用具の活用 食糧管理・健康管理・脱出の時期	天候の変に対する判断と処置 低体温症に対する注意と処置
		炊事 用具の点検，使い方，食糧献立	火気使用 食中毒	炊事 用具の点検，使い方，食糧献立	火気使用 食中毒
	活				

研修講習 項目	無雪期		積雪期	
	内 容	留意点	内 容	留意点
実 り 技 術	ルートの選定 岩場の見方、名称 ルートの判断 危険の回避 用具の使い方 ハーネス ヘルメット ザイル、スリング カラビナ、ハンマー ハーケン、チョック等 確保技術 アンカーの設定  プロテクションの構成  確保の種類 制動確保 固定確保 確保の方法 ボディブレイ 器具による確保 確保後の処置 登はん技術 岩登りの基本姿勢 三点支持 ホールドの使い方 リズムとバランス 登下降 トラバース オポジションクライミング 人工登はん 懸垂下降 固定ザイル 隔時登はん 連続登はん 応用技術 埋込みボルト スカイフック等の使用法 ザイルトラバース 登下降器の使用法	天候による岩場の変化 崩壊・落石・登はん具の強度と安全性  衝撃の方向と強さの予測 衝撃の緩和 落下率  支持と下降地点の確認 用具の機能と強度		

研修講習 項 目	無 雪 期		積 雪 期	
	内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実 技 術 技	氷 雪 技 術		ルートの選定 ルートの判断 危険の回避 用具の使い方 ザイル, ピッケル, シュタイクアイゼン, スノーフルーク, アイスハーケン等 軟雪における登下降 ラッセル 堅雪における登下降 キックステップ, ステップカッティング, ピッケルとシュタイクアイゼンの技術 登はん技術 三点支持と基本姿勢 リズムとバランス 固定ザイルの使用法 耐風姿勢 確保技術 アンカーの設定 プロテクションの構成 確保の種類 制動確保 固定確保  確保の方法 ボディビレー 器具による確保 隔時登はん 連続登はん 氷雪と岩の混じったところの登はん 雪庇, きのこ雪, ナイフエッジ 固定ザイル, 懸垂下降  応用技術 氷雪壁の登はん ピッケル, アイスハンマー あぶみ, 登下降器の使用法 ザイルトラバース	雪崩 雪庇の崩壊, 落石 用具の機能と強度  衝撃の方向と強さの予測 衝撃の緩和 落下率  支点と下降地点の確認

研修講習 項目	無雪期		積雪期	
	内 容	留 意 点	内 容	留 意 点
実技	山岳スキ		用具と使用法 スキー、締具、靴、ストック、シール、ワックス、修理用具 ルートの選定 ルートの判断、デポ地の選定 危険の回避 積雪と雪崩の判断 スキー技術 歩行 ラッセル 直滑降 斜滑降 横滑り  山まわりターン 谷まわりターン 応用動作	用具の特性・用具の手入れ 雪崩、雪庇の崩壊、落石 深雪、悪雪 パーティの分散と集合地点 ルートを全員に徹底 自分の技術に合わせたスキ一操作
危急時対策	危険の回避 天候の変化、地形、パーティの状態に対する判断と対策  事故発生時における対策 不時露営の方法 通信連絡の方法 捜索活動  救出における実際活動 救急処置 搬送法 平地、岩場、雪上	登山用具装備の利用	危険の回避 天候の変化、地形、パーティの状態に対する判断と対策  雪崩発生の予知と対策 事故発生時における対策 不時露営の方法 通信連絡の方法 捜索活動 雪崩埋没者の救出  救出における実際活動 救急処置 搬送法 平地、岩場、雪上	風雪・深雪中の行動と対策 リングワンドリング  ゾンデ棒 スコップ 雪崩ビーコン 登山用具装備の利用

研 究 協 議	山岳部（山岳会）運営上の諸問題
	運営と管理
	遭難対策
	リーダーとフォロワー
	新人の指導
	トレーニング
	海外登山
	その他
	実技指導上の諸問題
	登山技術と確保の指導方法

## (3) 年度別研修会及び講習会別修了者

年度別研修会及び講習会修了者数一覧

季別	事業名	年 度							
		42	43	44	45	46	47	48	
春	大学山岳部リーダー研修会						8 28	8 46	8 46
	高校・高専登山指導者研修会 ✓		8 26	8 22	8 28	8 20	8 15	8 21	✓
	一般山岳団体指導者研修会					7 20	7 18	7 17	
山	雪上技術講習会								
	山岳遭難救助研修会							5 44	5 48
	集団登山指導者研修会					5 33	5 27		
夏	大学山岳部リーダー研修会	8 48	8 42	8 27	8 44	8 50	8 41	8 36	
	高校・高専登山指導者研修会 ✓	8 52	8 37						✓
	一般山岳団体指導者研修会	8 30	8 25	8 36					
		8 32	8 27	8 30	8 39	8 50	8 39	8 37	✓
山	岩登り講習会								
	女子登山指導者研修会			4 43	7 33	7 25	7 24	7 24	
	山岳遭難救助研修会								
	集団登山指導者研修会				5 20			5 25	
冬	大学山岳部リーダー研修会	8 23	8 48	8 51	8 52				
	高校・高専登山指導者研修会 ✓	7 45	8 34	8 56	8 45	8 33	8 50	8 40	
	一般山岳団体指導者研修会	7 41	7 28	8 33	8 32	8 30	8 26	8 24	✓
その他	山岳スキー講習会								
	講師研修会								
	中高年女性登山指導者講習会(中部圏)								
	" (西部圏)								
合計	" (東部圏)								
	事業數 計	7	9	10	10	11	12	12	
	日 数 計	54	70	74	74	81	86	86	
	参加人數 計	271	292	353	341	334	375	360	

季別	事業名	年 度		4 9	5 0	5 1	5 2	5 3	5 4
		日数	人數	日数	人數	日数	人數	日数	人數
春	大学山岳部リーダー研修会	7	43	7	59	7	43	7	52
	高校・高専登山指導者研修会	7	20	7	17	7	22	7	24
	一般山岳団体指導者研修会	6	16	7	16	7	17	7	25
山	雪上技術講習会							5	40
	山岳遭難救助研修会	5	47	5	44	5	43	5	38
	集団登山指導者研修会							5	31
夏	大学山岳部リーダー研修会	7	37	7	37	7	41	7	43
	高校・高専登山指導者研修会	7	41	7	32	7	32	7	29
	一般山岳団体指導者研修会	6	17	7	34	7	24	7	27
山	岩登り講習会								
	女子登山指導者研修会	6	31						
	山岳遭難救助研修会								
冬	集団登山指導者研修会	5	38	5	34	6	19	6	13
	大学山岳部リーダー研修会	7	43	7	48	7	42	7	41
	高校・高専登山指導者研修会	7	27	7	13	7	14	7	23
山	一般山岳団体指導者研修会	6	21	7	17	7	10	7	12
	山岳スキー講習会							5	30
	講師研修会								4
そ の 他	中高年女性指導者講習会(中部地区)								24
	" (西部地区)								
	" (東部地区)								
合計	事業数 計	12	11	11	11	11	10	9	
	日 数 計	76	73	74	74	62	54		
	参加人数 計	381	351	307	327	329	344		

5	5	6	5	7	5	8	5	9	6	0	6	1	6	2	6	3	元	
日数	人數																	
7	62	7	51	7	54	7	49	7	56	7	54	7	57	7	57	7	59	
5	31	5	28	5	30	5	29	5	33	5	29	4	25	4	22			
												4	22	4	18	4	39	
																	4	33
7	55	7	51	7	51	7	45	7	47	7	46	7	48	7	50	7	52	
																	7	59
5	42	5	29	5	27	5	27	5	28	5	24	5	36	5	25	5	25	
																	5	35
5	24	5	14	5	15	5	14	5	9									
												5	12	4	18	4	20	
														4	18	4	12	
															4	17	4	
																	7	
5	33			5	27	5	28	5	31	5	28	5	33	5	34	5	36	
												3	30	4	31	4	28	
																	4	
																	34	
7	52	7	44	7	49	7	45	7	34	7	42	7	41	7	49	7	40	
																	7	
																	47	
5	20	5	32	5	24	5	22	5	18	5	27	4	37	4	35	4	24	
																	4	
4	26			4	17			4	21	4	9	4	10				27	
9		8		9		8		9		9		11		11		10		10
50		46		50		46		50		50		54		55		51		51
345		282		294		259		277		271		357		352		333		360

季別	事業名	年 度								
		2 日数	3 人数	4 日数	5 人数	6 日数	7 人数	8 日数	人数	
春	大学山岳部リーダー研修会	7	55	7	56	7	69	7	57	
	高校・高専登山指導者研修会							7	65	
	一般山岳団体指導者研修会									
山	雪上技術講習会	5	41	5	43	5	36	5	39	
	山岳遭難救助研修会							5	42	
	集団登山指導者研修会							5	45	
夏	大学山岳部リーダー研修会	7	53	7	42	7	51	7	56	
	高校・高専登山指導者研修会	5	25	5	26	5	23	5	23	
	一般山岳団体指導者研修会							5	20	
山	岩登り講習会	5	21	5	21	5	26	5	26	
	女子登山指導者研修会							5	21	
	山岳遭難救助研修会	5	46	5	47	5	44	5	47	
	集団登山指導者研修会	4	42	4	27	4	37	4	33	
冬	大学山岳部リーダー研修会	7	48	7	53	7	54	7	54	
	高校・高専登山指導者研修会							7	51	
	一般山岳団体指導者研修会							7	45	
その他	山岳スキー講習会	5	29	5	24	5	27	5	19	
	講師研修会	2	11	2	10	3	10	3	11	
	中高年齢山岳指導者講習会(東部地区)		3	28	3	28	3	31	3	39
	" (中部地区)		3	26	3	28	3	23	3	25
	" (西部地区)		3	28	3	26	3	34	3	52
合計	事業數 計	10	13	13	13	13	13	14	9,4,1日現在	
	日 数 計	52	61	62	62	62	62	65	累計	
	参加人數 計	371	431	459	453	490	483	10,592人		

① 昭和42年度

第1回高等学校登山指導者養成研修会(4.2.7.28~8.4)

岩 部 明	斎 藤 稔	鈴 木 一 好	福 田 光 男
伊 藤 寿	箕 輪 普	斎 藤 正 治	中 保
岡 村 久	桜 井 文 達	杉 浦 英 午	清 水 隆 良
石 坂 久 忠	山 本 義 朋	山 崎 秀 直	高 見 源 彰
中 野 勇	丸 山 彰	貝 谷 孝 之	吉 住 友 一
中 野 正 臣	伊 藤 讓	城 山 半 次 郎	森 本 喜 興

## 2 施設利用状況

### (1) 主催事業

#### ① 昭和42年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
7月28日～8月4日	第1回高等学校登山指導者養成研修会	42	8	336
8月8日～8月15日	第2回高等学校登山指導者養成研修会	46	8	368
8月20日～8月27日	第1回大学山岳部リーダー養成研修会	65	8	520
8月30日～9月6日	第2回大学山岳部リーダー養成研修会	68	8	544
2月11日～2月17日	一般山岳団体指導者積雪期研修会	59	7	413
3月10日～3月17日	大学山岳部リーダー積雪期研修会	36	8	288
3月19日～3月25日	高等学校登山指導者積雪期研修会	60	7	420
	合 計	376	54	2,889

#### ② 昭和43年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月23日～5月30日	高等学校登山指導者春山研修会	38	8	304
7月19日～7月25日	一般山岳団体指導者夏山研修会	40	7	280
7月28日～8月4日	第1期高等学校登山指導者夏山研修会	43	8	344
8月7日～8月14日	第2期高等学校登山指導者夏山研修会	43	8	344
8月19日～8月26日	第1期大学山岳部リーダー夏山研修会	59	8	472
8月30日～9月6日	第2期大学山岳部リーダー夏山研修会	52	8	416
11月20日～11月27日	第1期大学山岳部リーダー冬山研修会	64	8	512
2月8日～2月14日	一般山岳団体指導者冬山研修会	47	7	329
2月20日～2月27日	高等学校登山指導者冬山研修会	53	8	424
	合 計	439	70	3,425

(3) 昭和44年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月30日～6月6日	高等学校登山指導者春山研修会	34	8	272
7月20日～7月27日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山第1期研修会	55	8	440
7月30日～8月6日	高等学校登山指導者夏山第2期研修会	51	8	408
8月9日～8月15日	一般山岳団体指導者夏山研修会	37	7	259
8月19日～8月26日	大学山岳部リーダー夏山第1期研修会	集中豪雨による災害のため中止		
8月30日～9月6日	大学山岳部リーダー夏山第2期研修会	42	8	336
9月20日～9月23日	女子登山指導者研修会	66	4	264
11月20日～11月27日	大学山岳部リーダー冬山第1期研修会	66	8	528
2月8日～2月15日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	48	8	384
2月20日～2月26日	一般山岳団体指導者冬山研修会	45	7	315
3月1日～3月8日	大学山岳部リーダー冬山第2期研修会	72	8	576
	合 計	516	74	3,782

(4) 昭和45年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月23日～5月30日	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	43	8	344
7月22日～7月29日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	58	8	464
8月2日～8月8日	一般山岳団体指導者夏山研修会	35	7	245
8月12日～8月18日	女子登山指導者研修会	52	7	364
8月22日～8月29日	大学山岳部リーダー夏山研修会	63	8	504
9月8日～9月12日	集団登山指導者研修会	32	5	160
11月21日～11月28日	大学山岳部リーダー冬山第1期研修会	67	8	536
2月9日～2月16日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	45	8	360
2月20日～2月26日	一般山岳団体指導者冬山研修会	36	7	252
3月2日～3月9日	大学山岳部リーダー冬山第2期研修会	59	8	472
	合 計	490	74	3,701

(5) 昭和46年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月 8日～ 5月15日	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	31	8	248
5月18日～ 5月25日	大学山岳部リーダー春山研修会	41	8	328
5月28日～ 6月 3日	一般山岳団体指導者春山研修会	32	7	224
6月 7日～ 6月11日	集団登山指導者研修会	45	5	225
7月24日～ 7月30日	女子登山指導者研修会	33	7	231
8月 2日～ 8月 9日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	68	8	544
8月12日～ 8月18日	一般山岳団体指導者夏山研修会	32	7	224
8月21日～ 8月28日	大学山岳部リーダー夏山研修会	66	8	528
2月15日～ 2月22日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	44	8	352
3月 1日～ 3月 8日	大学山岳部リーダー冬山研修会	51	8	408
3月10日～ 3月16日	一般山岳団体指導者冬山研修会	38	7	266
	合 計	481	81	3,578

(6) 昭和47年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
4月21日～ 4月25日	山岳遭難救助指導者研修会	57	5	285
5月 1日～ 5月 8日	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	25	8	200
5月18日～ 5月25日	大学山岳部リーダー春山研修会	58	8	464
5月28日～ 6月 1日	集団登山指導者研修会	40	5	200
6月 4日～ 6月10日	一般山岳団体指導者春山研修会	29	7	203
7月26日～ 8月 1日	女子登山指導者研修会	38	7	266
8月 4日～ 8月11日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	51	8	408
8月23日～ 8月30日	大学山岳部リーダー夏山研修会	55	8	440
9月 3日～ 9月 9日	一般山岳団体指導者夏山研修会	39	7	273
2月 4日～ 2月10日	一般山岳団体指導者冬山研修会	28	7	196
2月14日～ 2月21日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	37	8	266
3月 1日～ 3月 8日	大学山岳部リーダー冬山研修会	68	8	544
	合 計	525	86	3,745

## (7) 昭和48年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月11日～5月18日	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	31	8	248
5月22日～5月29日	大学山岳部リーダー春山研修会	62	8	496
6月2日～6月8日	一般山岳団体指導者春山研修会	28	7	196
6月12日～6月16日	山岳遭難救助指導者研修会	63	5	315
7月3日～7月7日	集団登山指導者研修会	35	5	175
7月24日～7月30日	女子登山指導者研修会	35	7	255
8月3日～8月10日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	50	8	400
8月22日～8月29日	大学山岳部リーダー夏山研修会	52	8	416
9月4日～9月10日	一般山岳団体指導者夏山研修会	32	7	224
2月6日～2月12日	一般山岳団体指導者冬山研修会	31	7	217
2月15日～2月22日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	36	8	288
3月1日～3月8日	大学山岳部リーダー冬山研修会	55	8	440
	合 計	510	86	3,670

## (8) 昭和49年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月8日～5月14日	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	30	7	210
5月18日～5月23日	一般山岳団体指導者春山研修会	26	6	156
5月29日～6月4日	大学山岳部リーダー春山研修会	59	7	413
6月10日～6月14日	山岳遭難救助指導者研修会	60	5	300
7月1日～7月5日	集団登山指導者研修会	50	5	250
7月24日～7月29日	女子登山指導者研修会	44	6	264
8月4日～8月10日	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	53	7	371
8月19日～8月24日	一般山岳団体指導者夏山研修会	27	6	162
8月29日～9月4日	大学山岳部リーダー夏山研修会	53	7	371
2月3日～2月8日	一般山岳団体指導者冬山研修会	30	6	180
2月14日～2月20日	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	38	7	266
3月1日～3月7日	大学山岳部リーダー冬山研修会	57	7	399
	合 計	527	76	3,342

⑨ 昭和 50 年度

期 日	研 修 会 名 称	参 加 人 员	研 修 日 数	延 人 员
5月11日(月)～5月15日(金)	山岳遭難救助指導者研修会	55	5	275
5月20日(水)～5月26日(火)	大学山岳部リーダー春山研修会	75	7	525
5月31日(日)～6月 6日(土)	一般山岳団体指導者春山研修会	28	7	196
5月11日(木)～6月17日(水)	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	27	7	189
5月 1日(金)～7月 5日(火)	集団登山指導者研修会	43	5	215
5月24日(金)～7月30日(木)	一般山岳団体指導者夏山研修会	48	7	336
5月 6日(木)～8月12日(水)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	47	7	329
5月21日(金)～8月27日(木)	大学山岳部リーダー夏山研修会	53	7	371
5月22日(金)～1月28日(木)	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	22	7	154
5月 3日(土)～2月 9日(金)	一般山岳団体指導者冬山研修会	26	7	182
5月 3日(水)～3月 9日(火)	大学山岳部リーダー冬山研修会	61	7	427
	合 計	485	73	3,199

⑩ 昭和 51 年度

期 日	研 修 会 名 称	参 加 人 员	研 修 日 数	延 人 员
5月 8日(土)～5月12日(月)	山岳遭難救助指導者研修会	43	5	215
5月15日(土)～5月21日(金)	大学山岳部リーダー春山研修会	43	7	301
5月27日(木)～6月 2日(水)	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	22	7	154
5月27日(木)～6月 2日(水)	一般山岳団体指導者春山研修会	17	7	119
6月 9日(水)～6月14日(月)	集団登山指導者研修会	19	6	114
7月24日(土)～7月30日(金)	一般山岳団体指導者夏山研修会	24	7	168
8月 5日(木)～8月11日(水)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	32	7	224
8月21日(土)～8月27日(金)	大学山岳部リーダー夏山研修会	41	7	287
1月29日(土)～2月 4日(金)	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	14	7	98
2月15日(火)～2月21日(月)	一般山岳団体指導者冬山研修会	10	7	70
3月 1日(火)～3月 7日(月)	大学山岳部リーダー冬山研修会	42	7	294
	合 計	307	74	2,044

⑪ 昭和52年度

期日	研修会名称	参加人員	研修日数	延人員
5月9日(月)～5月13日(金)	山岳遭難救助指導者研修会	38	5	190
5月17日(火)～5月23日(月)	大学山岳部リーダー春山研修会	52	7	364
5月27日(金)～6月2日(木)	高等学校・高等専門学校登山指導者春山研修会	24	7	168
5月27日(金)～6月2日(木)	一般山岳団体指導者春山研修会	25	7	175
6月9日(木)～6月14日(火)	集団登山指導者研修会	13	6	78
7月23日(土)～7月29日(金)	一般山岳団体指導者夏山研修会	27	7	189
8月4日(木)～8月10日(水)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	29	7	203
8月23日(火)～8月29日(月)	大学山岳部リーダー夏山研修会	43	7	301
1月28日(土)～2月3日(金)	高等学校・高等専門学校登山指導者冬山研修会	23	7	161
2月15日(水)～2月21日(火)	一般山岳団体指導者冬山研修会	12	7	84
3月1日(木)～3月7日(火)	大学山岳部リーダー冬山研修会	41	7	287
	合計	327	74	2,200

⑫ 昭和53年度

期日	研修会等名称	参加人員	研修日数	延人員
5月13日(土)～5月17日(水)	山岳遭難救助指導者研修会	31	5	155
5月27日(土)～6月2日(金)	大学山岳部リーダー春山研修会	60	7	420
7月22日(土)～7月28日(金)	一般山岳団体指導者夏山研修会	18	7	126
8月5日(土)～8月11日(金)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	37	7	259
8月26日(土)～9月1日(金)	大学山岳部リーダー夏山研修会	40	7	280
1月27日(土)～2月2日(金)	一般山岳団体指導者冬山研修会	7	7	49
3月3日(土)～3月9日(金)	大学山岳部リーダー冬山研修会	57	7	399
	小計	250	47	1,688
6月24日(土)～6月28日(水)	登山指導者雪上技術講習会	40	5	200
9月9日(土)～9月13日(水)	集団登山指導者講習会	16	5	80
2月17日(土)～2月21日(水)	登山指導者山岳スキー講習会	30	5	150
	小計	86	15	430
	合計	336	62	2,118

⑬ 昭和54年度

期日	研修会等名称	参加人数	研修日数	延人員
5月9日(火)～5月13日(日)	山岳遭難救助指導研修会	43	5	215
5月18日(金)～5月24日(木)	大学山岳部リーダー春山研修会	63	7	441
8月1日(水)～8月7日(火)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	35	7	245
8月1日(水)～8月7日(火)	一般山岳団体指導者夏山研修会	10	7	70
8月23日(木)～8月29日(水)	大学山岳部リーダー夏山研修会	44	7	308
9月14日(金)～9月17日(月)	講師研修会	24	4	96
3月4日(火)～3月10日(月)	大学山岳部リーダー冬山研修会	50	7	350
	小計	269	44	1,725
6月1日(金)～6月5日(火)	登山指導者雪上技術講習会	39	5	195
2月14日(木)～2月18日(月)	登山指導者山岳スキー講習会	36	5	180
	小計	75	10	375
	合計	344	54	2,100

⑭ 昭和55年度

期日	研修会等名称	参加人数	研修日数	延人員
5月9日(金)～5月12日(月)	講師研修会	26	4	104
5月20日(火)～5月26日(月)	大学山岳リーダー春山研修会	60	7	420
7月22日(火)～7月26日(土)	山岳遭難救助指導者研修会	33	5	165
8月1日(金)～8月5日(火)	一般山岳団体指導者夏山研修会	24	5	120
8月18日(月)～8月22日(金)	高等学校高等専門学校登山指導者夏山研修会	42	5	210
8月26日(火)～9月1日(月)	大学山岳部リーダー夏山研修会	53	7	371
3月3日(火)～3月9日(月)	大学山岳部リーダー冬山研修会	52	7	364
	小計	290	40	1,754
5月30日(金)～6月3日(火)	登山指導者雪上技術講習会	32	5	160
2月5日(木)～2月9日(月)	登山指導者山岳スキー講習会	20	5	100
	小計	52	10	260
	合計	342	50	2,014

⑯ 昭和56年度

期日	研修会等名称	参加人数	研修日数	延人員
5月 8日(金)～5月12日(火)	山岳遭難救助指導者研修会	33	5	165
5月19日(火)～5月25日(月)	大学山岳部リーダー春山研修会	51	7	357
7月30日(木)～8月 3日(月)	一般山岳団体指導者夏山研修会	14	5	70
8月20日(木)～8月24日(月)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	30	5	150
8月27日(木)～9月 2日(水)	大学山岳部リーダー夏山研修会	51	7	357
3月 5日(金)～3月11日(木)	大学山岳部リーダー冬山研修会	44	7	308
	小計	223	36	1,407
5月29日(金)～6月 2日(火)	登山指導者雪上技術講習会	30	5	150
1月28日(木)～2月 1日(月)	登山指導者山岳スキー講習会	32	5	160
	小計	62	10	310
	合計	285	46	1,717

⑰ 昭和57年度

期日	研修会等名称	参加人数	研修日数	延人員
5月 7日(金)～5月10日(月)	講師研修会	17	4	68
5月27日(木)～6月 2日(水)	大学山岳部リーダー春山研修会	54	7	378
7月22日(木)～7月26日(月)	一般山岳団体指導者夏山研修会	15	5	75
7月22日(木)～7月26日(月)	山岳遭難救助指導者研修会	27	5	135
8月 3日(火)～8月 7日(土)	高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会	27	5	135
8月24日(火)～8月30日(月)	大学山岳部リーダー夏山研修会	51	7	357
3月 2日(水)～3月 8日(火)	大学山岳部リーダー冬山研修会	50	7	350
	小計	241	40	1,498
5月18日(火)～5月22日(土)	登山指導者雪上技術講習会	30	5	150
1月25日(火)～1月29日(土)	登山指導者山岳スキー講習会	24	5	120
	小計	54	10	270
	合計	295	50	1,768